

飯高タイムズ 178

ホームページはこちら ⇒ <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~iidaxh/>

石川 飯田高校

で検索 

平成30年度卒業生の進路合格状況

今春156名の生徒が飯田高校を巣立ちました。進路が確定していない生徒もありますが、現時点での状況をお知らせします。

今年度は、金沢大学7名（薬学部1名を含む）、富山大学5名、福井大学1名など国立大学合格者が24名、石川県立看護大学3名、公立小松大学7名、富山県立大学3名、新潟県立大学3名など公立大学が24名と昨年度に比べても人数を伸ばし、国公立大学合格者は48名となりました。私立大学も法政大学3名、日本大学2名、東海大学1名、國學院大學1名、関西大学1名、立命館大学4名、近畿大学5名などとなり、現在の私立大学合格者は116名です。短期大学でも公立の三重短期大学1名、私立の金沢学院大学短期大学部7名、金城大学短期大学部5名となり、現在は21名です。専門学校においても金沢医療センター附属金沢看護専門学校6名など39名、その他石川職業能力開発短期大学校1名となっています。就職では平成30年中に全員内定となり、公務員は税務職員や珠洲市職員、能登町職員など最終合格者数は11名となりました。

卒業生たちは、総体・総文後から平日は放課後補習に、土・日や祝祭日は登校学習に取り組み、夏休みは補習や自主登校に励みました。12月からは特別編成授業でセンター試験対策を行い、センター試験に臨みました。

今年度はセンター試験の平均点は昨年度より高くなりましたが、多くの高校が手堅い出願を行い厳しい戦いででした。特に中期・後期まで受験を続けた卒業生は、苦しんだとは思いますが人間的にも大きく成長してくれたと思います。卒業生の今後の活躍とともに、在校生の自分自身の将来に向けての挑戦を期待しています。

【各種合格者数及び就職先抜粋】

国立大学(24名)

金沢大学	7名
富山大学	5名
福井大学	1名
新潟大学	1名
信州大学	2名
北見工業大学	2名
上越教育大学	2名
鹿屋体育大学	1名
弘前大学	1名
秋田大学	1名
宮崎大学	1名

公立大学(24名)

石川県立看護大学	3名
公立小松大学	7名
富山県立大学	3名
福井県立大学	3名
新潟県立大学	1名
長野大学	2名
釧路公立大学	1名
長岡造形大学	1名
福知山公立大学	1名
高知工科大学	1名
長崎県立大学	1名

私立大学(116名)

法政大学	3名
日本大学	2名
東海大学	1名
東洋大学	1名
國學院大學	1名
関東学院大学	1名
金沢学院大学	21名
金沢星稜大学	20名
北陸大学	8名
日本福祉大学	2名
立命館大学	4名
大谷大学	1名
近畿大学	5名
関西大学	1名
奈良大学	2名
	など

短期大学(22名)

公立(1名)	1名
三重短期大学	1名
私立(21名)	
金沢学院大学短期大学部	7名
金城大学短期大学部	5名
金沢星稜大学女子短期大学部	3名
	など

専門学校

金沢医療センター附属	
金沢看護専門学校	6名
七尾看護専門学校	4名
国際医療福祉専門学校	七尾校
	3名
金沢科学技術専門学校	5名
その他	
石川職業能力開発短期大学校	
	1名

公務員(11名)

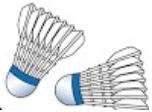
国家Ⅲ種税務職員	2名
石川県警察	1名
珠洲市役所	2名
能登町役場	1名
	など

就職(16名)

珠洲市農業協同組合	1名
石川サンケン(株)	3名
百楽荘	2名
日本郵便(株)	1名
アパホテル(株)	1名
西日本旅客鉄道(株)	1名
大口水産(株)	1名
(株)もりわん	1名
	など

春季校内球技大会

3月13日(水)



●総合優勝

2年C組

僕は今日の球技大会で、大会の運営をサポートしてくださる方々のご尽力を改めて実感しました。大会の進行は先生方と二・三年生が中心となるため、昨年度はその大変さに気付いていませんでした。しかし、進級し運営に携わる機会が増えた今年度、とりわけ1・2年生のみとなった今大会を通じて、見えないところで尽力してくださっている人の存在を強く感じました。先生方、生徒会役員、そして各部活動の役員に感謝申し上げます。



椿油を使った石鹼づくり

みなさん、珠洲市の花はご存知でしょうか？

珠洲市の花は“藪椿”です。総合学科では、地域の特色を学び郷土愛を育てることを目的として、珠洲市の花“藪椿”を題材に学習を行っています。

今年度は、9月に1年生が見附海岸へ行き椿の実を採取してきました。10月から1月にかけて1、2年生が採取した種子を絞り椿油を作りました。今回この椿油を利用して手作り石鹼を作る体験授業を行いました。

感想 (総合学科1年)

最初は、うまくできるか心配でした。薬品の温度がなかなか下がらなくて適温にするのがとても難しく、薬品と椿油を20分くらい混ぜるのがとても大変でした。固まった石鹼を切ってみるとと思っていたより切るのが難しく、でもすごくいい感じのマーブル模様になったのでとてもうれしかったです。はやく使いたいなと思いました。また機会があれば体験してみたいと思いました。



指導・協力
slow care niji hana oto
古畑 峰花 さん



検定合格状況



日本漢字能力検定	2級	5名		1級 ビジネス情報部門	8名
	準2級	5名		1級 プログラミング部門	1名
実用英語技能検定	2級	16名	情報処理検定	2級 ビジネス情報部門	12名
	準2級	16名		2級 プログラミング部門	2名
全商簿記実務検定	3級	3名		3級	40名
	1級	4名		2級	8名
全商英語検定	2級	15名	社会人常識マナー検定	3級	1名
	3級	4名		珠算1級	1名
ビジネス文書実務検定	1級	2名	珠算・電卓実務検定	電卓1級	17名
	2級	1名		電卓2級	35名
	3級	31名		電卓3級	31名
	4級	20名	全経簿記能力検定	2級	19名
	1級	5名		3級	28名
	2級	34名	商業経済検定	1級	2名
	3級	34名		2級	1名
	4級	16名		3級	3名

卒業生と語る会

3月14日（木）、普通科2年生のために40名を超える卒業生が集まり、「卒業生と語る会」が開催されました。5会場（国公立大学文系、理系、私立4年制大学、短大・専門学校、公務員・民間就職）に分かれ、貴重なアドバイスを受けました。真剣に、時には笑いを交えて語る卒業生に2年生は今後進んでいく道を示してもらいました。新生活に向けて忙しい中参加してくれた卒業生に感謝します。

以下に、参加生徒の感想の一部を紹介します。

- 失敗例を含めて話してくれてとても勉強になった。これから自分の目標に向かって努力します。
- 夏休みまでにどの科目を終わらせるなどのアドバイスを始め、精神面についても現実感たっぷりに知ることができて良かった。
- 自分が行きたい大学へ合格している人の話が聞けたのでとても参考になりました。今から変わらなければ後悔することが目に見えているので、しっかり自覚を持ちたいと思います。
- 私も3年生になったら2年生に語る立場になって楽しく話をできたらいいなと思いました。



ゆめかなプロジェクト次年度に向けて

先日、3月15日(金)の活動をもって、今年度のゆめかなプロジェクトが終了しました。年間を通して、生徒による主体的な学習に対してたくさんの外部の方々に心強い手助けをいただきました。ご協力いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。

次年度のゆめかなプロジェクトはリニューアルを予定しています。なかでも大きく変わるのが、普通科生徒だけで行っていたこの授業に総合学科生徒が加わることです。普通科生徒の取り組みでも総合学科生徒の取り組みでもなく、飯田高校生による取り組みとして学科の垣根を超えた新しい学びのあり方を創り上げていこうと思います。

リニューアルしても、豊かな学びの実現を目指して、生徒・教員が地域と溶け合いながら活動を進めていくという基本方針に変わりはありません。新年度からのゆめかなプロジェクトにも、たくさんの地域の方々にお関わりいただけると幸いです。

(今年度のようす)



↑ 通常活動回



↑ ゆめかな講演会（5.25）



↑ プチプレゼン大会(7.19)



↑ 中間成果発表会（11.3）



↑ みらい探求フォーラム（11.3）



↑ 最終成果発表会（2.16）

合格発表

3月6日・7日に石川県公立高等学校入学者選抜学力検査が実施され、14日(木)正午に合格発表が行われました。飯田高校玄関前では、発表30分前から徐々に中学生が集まり、発表を心待ちにしていました。正午ちょうどに、普通科80名、総合学科40名、計120名の合格者受検番号が貼りだされると、2枚の掲示板の前では、喜びの声を上げて写真を撮る中学生でいっぱいになりました。中には電話で家へ報告する姿もありました。合格発表と同時に学力検査の成績の簡易開示も行われ、緊張した面持ちで自分の成績を確認していました。

今回の入試では、昨年より志願者が多く受検生にとっては厳しい入試となり、不安も多かったことと思います。そんな中で勝ち取った合格の喜びはひとしおだったと思います。

今年度は、珠洲市、能登町など11中学校から120名が本校に合格しました。4月からこの藤林台で切磋琢磨し、充実した高校生活を送ってくれることを期待していますし、3年後の大きな姿を思い描きながら全職員でサポートしていきたいと思います。

